

I

教 育 行 政

第1節 教育計画

令和5年度富山県教育委員会重点施策

富山県教育委員会では、令和4年3月、令和4年度から令和8年度を対象期間とする「第3期富山県教育振興基本計画」を策定しました。

「第3期富山県教育振興基本計画」は、「第2期富山県教育大綱」（令和3年3月策定）に即し、第2期大綱において示された基本理念及び9つの基本方針、また新たに掲げた3つの横断的な取組みや、重点的・優先的に取り組むべき10の重要テーマを確実に実現するため、今後5年間に必要な教育施策や取組みを体系的に整理したものです。

この「富山県教育委員会重点施策」は、「第3期富山県教育振興基本計画」に示した新たな取組みの各年度の実施計画となるものであり、実施に当たっては、市町村教育委員会をはじめ、関係機関、諸団体等と協力しながら、学校、家庭、地域の相互の連携のもとに、実効性のある総合的な教育行政の推進に努めていきます。

今後とも「教育県」富山の良き伝統を引き継ぎ、地域社会と連携し協働する「チーム富山教育」をつくりあげ、子どもから大人まで、それぞれの段階で、ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、広く世界に目を向け、夢や志、情熱を持って地域社会や全国、そして世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成に積極的に取り組み、「とやまの新しい教育」を創造し、「真の人間力」を育む本県ならではの教育を推進します。

こうした本県の教育、学術及び文化の振興をとおして、すべての県民が生き生きと自分らしく暮らせる「真の幸せ（ウェルビーイング）」の向上を目指すとともに、SDGs（持続可能な開発目標）に掲げられた「質の高い教育」を目指し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現していきます。

基本方針 1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

【目標】

すべての子どもたちが、学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な環境の中で、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、健やかに成長すること。

方向性① 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実

学校、家庭、地域、企業等が連携し、それぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもを育む教育環境づくり、チーム富山の教育を推進する。

- **学校・家庭・地域の連携・協力による地域全体で子どもを育む教育環境づくりの推進**
放課後子ども総合プラン推進委員会の開催などにより、効果的な運営方法について検討するとともに、県内全般における総合的な放課後対策の推進を図りながら地域全体で子どもを育む教育環境づくりを推進する。 (生涯学習・文化財室)
- **学校評価の推進**
学校の教育活動についての的確に評価を行い、その結果を公表する学校評価を全公立学校で実施するとともに、その充実を図る。 (小中学校課)
- **学校評議員事業** [427 千円]
学校評議員制度について学校運営協議会を導入する学校を除き、全県立学校で実施する。 (県立学校課)
- **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業** [P. 17 に事業概要] (小中学校課)
- **とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業** [696 千円]
児童生徒の不適切なネット利用を防止するため、ネット上の不適切な書き込みをネット監視員が検索し、学校へ情報を提供するネットパトロールを実施する。 (小中学校課)
- **土曜日の豊かな教育活動推進事業** [12,176 千円] [P. 7、47 にも記載]
地域人材を活用した多彩な教育活動を推進するため、土曜日の学習活動を支援し、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。(県立学校は「地域学校協働活動推進事業」で実施) (生涯学習・文化財室、県立学校課)

• **⑨公民館 de つながるモデル事業** [2,000 千円] [P. 32、34、47 にも記載]

地域住民の交流の拠点である公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業にデジタルを組み合わせ、人々が多様につながる新たな公民館活動の創出を支援する。

• **放課後子ども教室推進事業** [31,769 千円]

[P. 47 にも記載]

放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、すべての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。



放課後子ども教室

• **青少年自然の家の運営** [70,054 千円]

自然環境の中での集団生活を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、呉羽青少年自然の家及び砺波青少年自然の家を運営する。

• **立山荘の運営** [7,858 千円]

県内小学校等による集団立山登山や観光客の宿泊・休憩施設として立山荘を運営する。

• **中学校放課後学習支援推進事業** [8,583 千円] [P. 7 にも記載]

希望する中学生を対象に、放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、大学生や教員 O B など地域住民の指導や I C T の活用等による学習支援を実施する

(生涯学習・文化財室)

• **高等学校等就学支援金等** [1,800,476 千円]

すべての意思ある生徒が安心して教育を受けられるよう、一定の収入額（年収 910 万円程度）未満の世帯に「就学支援金」及び「学び直し支援金」を支給する。

また、高等学校専攻科に通う低所得世帯の生徒に対して授業料の支援を行う。

• **公立高等学校奨学のための給付金事業** [170,613 千円]

授業料以外の教育費負担を軽減するため、公立及び国立の高等学校等の低所得世帯の生徒に対して「奨学のための給付金」を支給する。

(生活保護受給世帯：32,300 円、非課税世帯の第 1 子：117,100 円、
第 2 子以降：143,700 円、通信制：50,500 円、専攻科：50,500 円)

• **奨学資金事業** [57,145 千円]

経済的理由で修学が困難な高校生等に対し奨学資金の貸与を行う。 (県立学校課)

方向性② 家庭の教育力の向上

基本的な人格形成の場である家庭の教育力の向上を、学校、地域、企業等が連携して支援するとともに、乳幼児期からの子どもの望ましい生活習慣の定着や非認知能力の育成に向けた取組みを推進する。

- **とやま親学び推進事業** [3,365 千円]

「とやま親学び推進協議会」を年2回開催するとともに、推進リーダー等を養成・配置し、乳児から中学生までの子どもをもつ親が自分の役割や子どもとのかかわり方を学ぶ「親学び講座」の充実・推進を図る。また、経済団体等と連携して、企業において家庭教育講座を開催する。



親学び講座

- **ほっとネッ！とやま家庭教育ナビ事業** [2,000 千円]

基本的な生活習慣や親子のコミュニケーションなどの子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する様々な情報を動画等で提供するなど、親の学びや成長を支援する環境を整備する。

- **家庭教育総合相談事業** [4,774 千円]

子育て情報ホームページ「子育てネッ！とやま」による情報提供や、電話相談やカウンセリング、電子メール等を活用した家庭教育に関する総合的な相談体制を整備する。

- **子どもの読書活動推進事業** [2,370 千円] [P.7にも記載]

平成31年3月に策定した第四次「富山県子ども読書活動推進計画」（計画期間：令和元年度からおおむね5年間）に基づき、家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動を推進する。
(生涯学習・文化財室)

方向性③ 児童等の安全の確保

市町村、学校、家庭、地域、関係団体等と連携して、子どもの見守り活動や安全教育、不審者情報等の共有化により、児童生徒等の安全を確保する。

- **学校安全教育推進事業** [424 千円]

学校の安全管理及び安全教育の取組みを推進するため、学校安全アドバイザーを 12 校に派遣する。

- **防犯・防災教育指導者講習会の開催（国委託事業）** [266 千円]

学校の実践的な安全教育、防災教育の充実を図るため、教職員等を対象として実施する。

- **子どもの登下校安全対策事業** [1,748 千円]

登下校時等の子どもの安全を確保するため、市町村で委嘱するスクールガード・リーダーの配置や、学校安全パトロール隊の活動に要する経費等について支援する。

(保健体育課)

基本方針 2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

【目標】

子どもたちが、基本的な知識・技能とともに探究力や問題発見・解決能力を身につけ、グローバル化やAIやIoTなどの技術革新などが急速に進展する社会の中で、多様な価値観を持つ人々と連携、協働しながら、自らの可能性を発揮し未来を切り拓いていく力を育むこと。

方向性① 確かな学力の育成

知識及び技能の確実な習得とともに、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。

また、児童生徒の実態を把握し、家庭学習も含めた学習習慣の定着を図り、学力向上に向けた取組みを推進する。

さらに、知的好奇心、学習意欲、探究心、科学分野への興味や関心を高め、その能力を伸ばす教育を推進する。

- とやま型学力向上総合支援事業（小・中・義務教育学校）[10,183千円]

[P.13にも記載]

全国学力・学習状況調査等の結果分析と、それを学校改善、授業改善に有効に活用するための体制の充実を図る。また、市町村教育委員会の学力向上の取組みに対して総合的な支援を行うことにより、児童生徒の確かな学力の育成を図る。

- 令和のとやま型教育推進事業（小・中・義務教育学校）[8,550千円]

全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指すとともに、市町村教育委員会と連携しながら、「問題発見・解決能力」など、子どもたちに必要な資質・能力の育成に向けた実践研究を推進する。

- 幼児教育の質の向上推進事業 [5,935千円] [P.20にも記載]

幼児教育の質の向上を図るため、県内すべての幼稚園・保育所・認定こども園を対象に幼児教育アドバイザー等を活用した研修支援等の充実により、幼児教育の質の向上を図る。また、幼小の連携を深め、幼小の教育の円滑な接続を図る。

- 基礎的な学力の定着

県内全ての小学生が共通の問題に取り組む「漢字・計算チャレンジテスト」や、個に応じたきめ細かな指導の充実、朝学習や夏休み中の学習相談の実施等の取組みを行う。

(小中学校課)

- ・**とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業** [P. 24 に事業概要]
- ・**高校オープンイノベーション支援事業** [P. 24 に事業概要] (県立学校課)
- ・ **土曜日の豊かな教育活動推進事業** [P. 2 に事業概要]
(生涯学習・文化財室、県立学校課)
- ・ **中学校放課後学習支援推進事業** [P. 3 に事業概要]
- ・ **子どもの読書活動推進事業** [P. 4 に事業概要] (生涯学習・文化財室)
- ・ **小学校専科教員配置事業** [P. 20 に事業概要] (教職員課)

- ・ **とやま科学オリンピックの開催（第12回）** [8,515千円]

科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能を引き出して伸ばすことを目的に、中・高校生を対象に、数学・理科を中心とした思考力を問うとともに、実験・観察も取り入れた「とやま科学オリンピック」を開催する。



とやま科学オリンピック 2022
高校部門（化学分野）

- ・ **親子でチャレンジ小学生体験教室の開催** [913千円]
科学技術人材の育成及び職業観・勤労観の育成を図るため、小学生が親子で科学工作・実験に取り組むとともに、関連する科学技術等を扱う県内企業等の見学を実施する。
- ・ **「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」代表チーム研修事業** [533千円]
「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」の全国大会に出場する本県代表チーム（中・高校生）の研修を実施する。 (教育企画課)
- ・ **ふるさととやまの自然・科学探究推進事業** [90千円] [P. 34、48にも記載]
富山の自然等を通して科学的な視点を養う小学生向けの副読本（電子ブック）を授業や地域学習、家庭学習などで活用し、自分で目的をもって自然に触れ、観察することで探究する態度や科学する心を育てる。 (小中学校課)
- ・ **スーパーサイエンスハイスクール事業（国委託事業）** [1,216千円]
富山中部高校において、探究力や科学的思考力等を身につけた科学技術系人材育成のため、高大連携による課題研究、英語による研究発表指導等を実施する。 (県立学校課)

方向性② ICTを活用した教育の推進

ICTを活用し、児童生徒の知識及び技能の確実な習得とともに、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力、人間性等の育成を図る。

- **教育環境のデジタル化推進事業** [2,074千円] [P.48にも記載]

AIやIoT等の技術革新やグローバル化などの進展を見据え、教育環境のデジタル化を統括する「教育CIO・CDO」やその補佐役等で構成する「富山県教育DX推進会議」を運営し、学校におけるデジタル環境の整備やICT教育の総合的・計画的な推進を図る。

(教育企画課)

- **ICT教育推進事業** [17,284千円] [P.13、25にも記載]

ICTの利活用により全ての児童生徒の資質・能力が確実に育成できる環境の実現に向け、効果的で質の高い授業を展開するためのデジタルコンテンツ等を配備するとともに、引き続き教員のICT活用指導力の向上を図る。

(教育企画課、県立学校課)

- **圏GIGAスクール運営支援センター整備事業** [38,932千円]

学校におけるICT教育への支援体制強化のため、市町村が参加する「GIGAスクール推進協議会(仮)」を新設するとともに、県立学校の「GIGAスクール運営支援センター」の機能を強化し、情報通信技術支援員の派遣による学校現場への支援を行うもの。

(教育企画課)

- **教育の情報化の推進** [62,092千円]

全県立学校に整備された生徒用LANやコンピュータ等のICT学習環境を活用して、教科指導による学力の向上を図るとともに、情報化に対応した新しい資質の育成に向けた情報教育を進めるなど、ICTを活用した教育を充実する。

(教育企画課)

- **GIGAスクール構想推進事業** [3,367千円] [P.13にも記載]

1人1台端末等を積極的に活用した、より効果的な授業実践を進めるため、市町村立学校教員を対象とした体験研修等を実施する。

(小中学校課)

方向性③ 社会で生きる実践的な力の育成

将来の夢や目標を持ち、自らの人生を主体的に切り拓いていく力やチャレンジする精神、生涯にわたり学び続ける意欲を育む。

また、積極的に社会に参画、貢献し、信頼される若者に成長するよう、子どもが自己肯定感・自己有用感を持って、コミュニケーション能力や課題解決能力、職業観や勤労観、家族観、確かな学力を身につけるための教育を推進する。

- 富山型キャリア教育充実事業 [12,900 千円]

[P. 47 にも記載]

高等学校でのインターンシップの推進など、発達段階に応じたキャリア教育を充実し、地域を支え富山で活躍できる人材を育成する。

高等学校では、アカデミック・インターンシップや職業教育プログラム推進事業などを含めた、「社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』」を推進する。

(県立学校課)



アカデミック・インターンシップ

- 私立高等学校キャリアプランニング推進事業 [4,594 千円] [P. 47 にも記載]

私立高等学校にキャリア教育アドバイザーを派遣し、就職支援やインターンシップの推進、県内企業への理解促進を図る。

(経営管理部所管事業)

※ 枠で囲まれた事業等は他部局所管事業 (以下同様)

- 高校生とやま県議会事業 [880 千円]

高校生の代表 40 人が、富山県のよりよい未来を創るための意見交換や議会体験等を通して、政治参加意識や社会参画意識を高める。



高校生とやま県議会

- 富山県青年議会事業 [400 千円]

各市町村や青年団体等から推薦された青年議員 40 人が、よりよい県政の方向性等について若者の視点で学習してきた成果を生かし、県当局に質問や提案をする。

(生涯学習・文化財室)

- 児童生徒が主体的に進める活動への支援

福祉・ボランティア活動やインターンシップ、児童生徒自身の問題を解決するための生徒会活動、学級活動等に対し、家庭や地域の教育力も活用しながら支援する。

(県立学校課、小中学校課)

- ・ **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業** [P. 17に事業概要] (小中学校課)

- ・ **とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業** [1,043千円] [P. 16、47にも記載]
 「富山で学ぶ・働く・結婚する・産み育てる・暮らすなど、富山の良さを知る」児童生徒が増加するように、冊子の活用や地域で活躍する方の話、赤ちゃんとのふれあい体験を通し、ふるさと教育を含めたライフプラン教育について体系的に進める。 (小中学校課)

- ・ **とやまの高校生ライフプラン教育充実事業** [2,000千円] [P. 16、47にも記載]
 生涯を見通し、自己の在り方・生き方を考える副教材の活用や、赤ちゃんふれあい体験、産婦人科医等の特別授業を支援することにより、ライフプラン教育の普及・充実を図る。

- ・ **とやまの高校生マイスター育成事業** [3,500千円]
 ものづくり人材や6次産業人材など、富山の地域を支える人材を育成するとともに、DXに対応した職業人材の育成を図る。 (県立学校課)

- ・ **農業教育環境整備事業** [P. 25に事業概要] (教育企画課)

- ・ **科学技術教育設備充実費** [P. 25に事業概要] (教育企画課)

方向性④ グローバル社会で活躍できる人材の育成

ふるさとへの誇りと愛着を持ち、広く世界に目を向け、国際的な視野を有し、未来を自ら切り拓き、富山や全国そして世界を舞台に活躍する人材を育てるため、探究力、課題解決能力、コミュニケーション能力及び高い英語会話を育む。

- **小学校専科教員配置事業** [P. 20 に事業概要] (教職員課)
- **とやまグローバル人材育成促進事業** [644 千円]
高度な英語力をもち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、市町村立学校の教員を対象にした研修会を充実させるとともに、小・中・義務教育学校における英語教育の研究推進を支援し、教員の英語指導力の向上を図る。(小中学校課)
- **英語グローバル教育充実事業（一部国委託事業）** [1, 888 千円]
高度な英語力をもち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、国際バカロレアに係る調査研究を行うほか、各校で設定した学習到達目標の活用を促進し、全県で英語指導の一層の充実を図る。
- **とやま型スーパーグローバルハイスクール事業** [17, 386 千円] [P. 48 にも記載]
ふるさとに誇りと愛着を持ちながら、幅広い教養や問題解決能力等の国際的素養を身に付け、地域や国際社会が抱える課題を解決できるグローバル人材を育成するため、県立高等学校9校をとやま型グローバルハイスクールに指定し、海外大学等での研修等の充実を図る。
- **外国語指導助手〔ALT〕の配置** [179, 329 千円]
- **高等学校生徒海外派遣事業** [23, 801 千円] [P. 34 にも記載]
高校生等 20 名を海外に派遣し、ふるさと富山への理解や英語による富山の魅力発信などについて事前研修を行うとともに、派遣地での生徒間交流などによる異文化への理解を通じ、世界とのつながりの中で未来の郷土を支え、社会の発展に貢献するグローバル人材の育成を図る。
- **とやまの高校生留学促進事業** [5, 147 千円]
高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る。(県立学校課)

方向性⑤ 教員の資質向上、働き方改革の推進

優れた教育理念や指導技術の継承、教員研修の充実等により、教育への情熱や使命感をもつ勤勉で、新たな教育的課題に適切に対応できる実践的指導力を有する教員を育成するとともに、教員の大量退職が見込まれる中、優れた教員の確保と教員が児童生徒と向き合いやすい環境の整備に努める。

- **キャリアステージ等に応じた研修の充実** [5,448 千円]

若手教員研修（初任者研修、2年次研修、3年次研修）、6年次教職員研修等の年次研修において、「具体的な事例や体験を通して学ぶ研修」や「教職員としての自覚や使命感・倫理観を高める研修」を実施するなど、学校内における職務や経験等に配慮した研修や、学習指導要領、情報教育、学校組織マネジメント等、今日的な課題に対応した研修の充実を図る。

- **学習支援等大学生派遣事業** [5,643 千円]

富山大学・富山国際大学・金沢大学の教員志望大学生を指導補助者等として小・中・義務教育学校に派遣し、教育指導体制の充実を図る。

- ・ 学びのアシスト派遣
- ・ スタディ・メイトジュニア派遣
- ・ 観察実験アシスタント派遣
- ・ 外国人支援スタッフ派遣 [P. 13 に事業概要(外国人児童生徒教育推進事業)]
- ・ 心のサポーター派遣
- ・ 英語学習パートナー派遣

(小中学校課)

- **現職教員(20名)の富山大学教職大学院への派遣** [13,536 千円] (教職員課)

- **大学、研究機関、企業等への内地留学や海外研修の実施** [2,108 千円]

(県立学校課、小中学校課)

- **大学院修学休業制度や認定講習制度を活用した、教員の専修免許状等の取得の促進や資質向上** [225 千円] (教職員課)

- **教師力向上支援事業** [4,865 千円]

今日的な教育課題に対応していく資質を涵養するため、教員を国内外の教育事情視察などに派遣する。

(県立学校課)

- **教師の学び支援塾事業** [1,500 千円]

教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導、生徒指導、進路指導、部活動の指導など、学校教育における指導上のノウハウを、研修等を通じて若手教員に伝承する。

(県立学校課)

- **授業力向上対策事業** [1, 200 千円]
 小・中・義務教育学校教員の授業力向上のための研究活動を支援する。
- **とやま型学力向上総合支援事業** [P. 6 に事業概要] (小中学校課)
- **I C T教育推進事業** [P. 8 に事業概要] (教育企画課、県立学校課)
- **G I G Aスクール構想推進事業** [P. 8 に事業概要] (小中学校課)
- **指導力向上特別研修事業** [2, 406 千円]
 指導が不適切と判定された教員に対して、指導力回復のための研修を実施し、学校現場への復帰を支援する。(教育企画課)
- **生徒指導や教育相談に関わる教員の資質向上**
 生徒指導セミナーや学校カウンセリング講座等の研修機会の充実を図る。
 (県立学校課、小中学校課)
- **進路指導に関わる教員の資質向上** [70 千円]
 進路指導講演会、事例発表や校種ごとに分かれての研究協議を実施する。
- **特別支援学校障害種別研修** [566 千円]
 特別支援学校に在籍する子どもの障害の重度・重複化、多様化に対応するため教員の資質向上を図る。
- **資源・エネルギー教育推進事業の実施** [3, 500 千円]
 資源・エネルギー教育を推進するため、学習教材の作成や指導方法の工夫改善等について各学校を支援する。(県立学校課)
- **外国人児童生徒に対する日本語指導や生活適応指導等の充実** [10, 792 千円]
 外国人児童生徒の多い学校へ日本語指導担当教員や外国人相談員の配置などを行う。
 (教職員課)
- **外国人児童生徒教育推進事業** [2, 400 千円]
 外国人児童生徒教育コーディネーターの配置、モデル校での実践研究、研修会の開催、関連機関と連携した運営協議会の開催等により、学校における指導体制の構築、外国人教育の充実を図る。
 (小中学校課)

- **集団登山引率者講習会の開催** [659 千円]
 安全な登山の実施のため、教員を対象とした講習会を開催する。 (保健体育課)
- **「キャリア教育指導者養成研修」の開催**
 本県で実施される全国の教員を対象とした(独)教職員支援機構の研修との連携により、本県教職員の一層の資質向上を図る。
- **富山大学との教員相互の連携協力**
 富山大学教員が県総合教育センターの客員教授等として、教員研修及び調査研究等に連携協力し、教員の資質向上と教育研究の一層の充実を図る。
 一方、県教育委員会は、富山大学に教員を派遣し、教員志望の学生対象の教材研究等に関する講義に協力し、教員養成の充実を図る。 (教育企画課、県立学校課、小中学校課)
- **「富山学」推進事業**
 富山大学教育学部の学生を対象とした必修専門科目(科目名 地域教材研究「富山学」)を開設する。 (小中学校課)
- **教員評価制度の実施**
 県内の小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校で、引き続き教員評価制度を実施する。
- **司書教諭の配置・養成** [591 千円]
 すべての12学級以上の小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に司書教諭を配置するとともに、現職教員の司書教諭資格の取得に努める。
- **少人数教育の推進や特別支援教育の充実に必要な教職員定数の確保**
- ⑩ **「富山で先生になろう」応援事業** [12,000 千円]
 意欲ある優秀な教員を安定的に確保するため、教員U I Jターンセミナーや教員養成講座を実施するほか、新たに教員の魅力発信等を実施する。 (教職員課)
- ⑪ **教員を目指す学生の野外活動実習・異学年子ども体験活動事業** [1,600 千円]
 教員の仕事の魅力を理解してもらうため、県立青少年教育施設において高校生や大学生が企画運営に携わる小学生対象の異学年交流合宿を実施する。 (生涯学習・文化財室)
- **採用前研修事業** [500 千円]
 富山大学と連携し、教員採用内定者を対象とした採用前研修を実施する。

- **学校多忙化解消推進事業** [912 千円]
 「とやま学校多忙化解消推進委員会」の継続開催や保護者、地域、企業等に対して教員の働き方改革の普及啓発、その他働き方改革の取組みに必要な環境整備を行うことで、学校における多忙化を解消し、教員が児童生徒と向き合いやすい環境を整え、自らの資質能力を高める機会の確保を図る。
- **スクール・サポート・スタッフ配置事業** [254,546 千円]
 配置を希望する市町村立小・中・義務教育学校及び特別支援学校（小・中学部）にスクール・サポート・スタッフを配置し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための業務を含めた教員の学内業務の負担を軽減し、子どもと向き合う時間の確保を図る。
- **部活動指導員配置促進事業** [47,521 千円] [P. 42、45 にも記載]
 公立中学校及び県立高等学校に部活動指導員（中学校 153 名、高校 33 名）を配置し、教員の負担軽減と技術的な指導を行う。
 （保健体育課、教職員課）
- **高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業** [155,540 千円]
 県立学校にスクール・サポート・スタッフ（70 名）を配置し、県教育委員会における障害者雇用を促進するとともに、教職員の学内業務の負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間の確保を図る。
 （教職員課）
- **結核健診及び生活習慣病予防健診の実施**
- **生活習慣病予防健診結果に基づく保健指導の実施**
- **長時間勤務教職員に対する医師による面接指導と臨時健診の実施**
- **ストレスチェックと高ストレス者に対する面接指導の実施** [計 51,780 千円]
- **人間ドック、女性検診の実施**
- **教職員・心の健康管理医によるカウンセリングの実施 等** [計 34,871 千円]
 （保健体育課）
- **㊦ G7 開催記念事業 教育講演会** [390 千円]
 G7 教育大臣会合の開催に併せ、教育分野で活躍する工藤勇一氏による講演、トークセッションを開催。
 （教育企画課）
- **㊦ 入学者選抜手続等デジタル化事業** [60,000 千円]
 県立高等学校入学者選抜等に関して、Web 出願システムを導入し、インターネットを介しての手続等を可能とする。
 （教育企画課、県立学校課）

基本方針3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

【目標】

すべての子どもたちが、豊かな心を身につけ、たくましく生きるための健やかな身体を育むとともに、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加するための力を育むこと。

方向性① 豊かな心と健やかな体の育成

自己肯定感を身につけ、命を尊び、他者を思いやり支えあう心、感動する心を持った豊かな人間性とともに、心身の健康を保つ実践力とたくましく生きるための体力を育む。

社会の担い手となる児童生徒や若者の豊かな心を育み、よりよく生きようとする規範意識や公共心を身につけるなど道徳性の涵養を図る。

また、学校と家庭、地域・関係機関等の連携を深めるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー等の専門家の活用による相談体制の一層の充実を進める。さらに、子どもたちの運動の習慣化や体力向上に取り組むとともに、食を大切にする心を育む食育及び健康教育を推進する。

- **社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの育み**

学校の教育活動全体を通して、児童生徒に社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの豊かな人間性を育み、自由と規律がバランスよく身につくよう努める。



さわやか運動

- **児童生徒の自己指導能力の育成**

児童生徒がやり遂げた喜びや学ぶ喜びを味わえる学習活動の展開、役割分担を明確にしながら組織的・計画的に対応できる生徒指導の推進等により、社会の変化に主体的に対応できる自己指導能力を育成する。

(県立学校課、小中学校課)

- **いのちの教育総合支援事業(国委託事業)** [P. 23 に事業概要]

- **とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業** [P. 10 に事業概要] (小中学校課)

- **とやまの高校生ライフプラン教育充実事業** [P. 10 に事業概要] (県立学校課)

• **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業**

(県内全公立中学校 74校(分校 1校含む)、義務教育学校 3校)

[14,900千円] [P.2、10、23、47にも記載]

規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身につけるという理念に基づき、中学2年生が取り組む職場体験活動や福祉・ボランティア活動の充実を図る。



社会に学ぶ「14歳の挑戦」

• **道徳教育総合支援事業(国委託事業)** [683千円] [P.23にも記載]

道徳教育推進講演会の開催、研修会等への講師の招へい等を通して、道徳教育の一層の推進を図る。

• **人権教育研究推進事業(国委託事業)** [P.23に事業概要]

(小中学校課)

• **人権教育総合推進事業** [P.23に事業概要]

(生涯学習・文化財室)

• **スクールカウンセラー配置事業** [184,225千円]

県内全公立小学校(174校)、県内全公立中学校(73校)、義務教育学校(3校)にスクールカウンセラーを配置する。

県立高等学校(拠点16校)にスクールカウンセラーを配置し、拠点校でのカウンセリング、その他の高等学校への巡回支援等を行う。

• **スクールソーシャルワーカー活用事業** [26,303千円]

社会福祉士等を14市町村の全中学校区、義務教育学校に派遣するとともに、高等学校4校を拠点に、その他の高等学校へも派遣することで、問題を抱える児童生徒の家庭環境等の改善を支援する。

• **いじめ総合対策推進事業** [15,398千円] [P.23にも記載]

関係機関・団体からなる「いじめ問題対策連絡会議」及び県教育委員会附属機関「いじめ防止対策推進委員会」を活用し、「富山県いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ防止対策を推進する。

児童生徒や保護者の電話相談に常時対応するため、総合教育センターに24時間対応の「いじめ相談電話」を設置する。

- **不登校児童生徒に対する支援推進事業** [2, 723 千円]
 不登校やひきこもり等児童生徒の諸課題に対応するため、訪問指導員を県総合教育センターに配置し、市町村の適応指導教室等を支援するとともに、フリースクール等との連携を推進する。
- **子どもと親の相談員の配置** [2, 347 千円]
 支援を必要とする公立小学校等に、児童や親が気軽に相談できる「子どもと親の相談員」を配置する。
- **スクールロイヤー活用事業** [1, 446 千円]
 県立学校や市町村教育委員会から要請があった場合、法的側面から支援する。
- **㊦教育相談体制充実事業** [6, 600 千円]
 不登校、いじめ等様々な課題を抱える児童生徒やその保護者への早期支援、教職員に対するコンサルテーション機能の充実のため、スクールカウンセラーのスーパーバイザーを配置し、教育相談体制の強化を図る。
(小中学校課)
- **生活指導主事の配置**
 各教育事務所にいじめや不登校等の諸課題に専門的に対応する生活指導主事を配置する。
(教育企画課、教職員課)
- **子どもほっとライン事業** [1, 354 千円]
 子ども(小学生～18 歳程度)が、電話相談員(大学院生等)に気軽に学校生活の悩みや質問ができる相談活動を実施する。
(生涯学習・文化財室)
- **とやま元気っ子スポーツライフサポート事業** [P. 42 に事業概要]
- **スポーツエキスパート派遣事業** [P. 42 に事業概要]
- **とやまっ子ワクワク運動体験応援事業** [P. 42 に事業概要]
- **㊦世界の食を楽しむ G7サミット給食提供事業** [1, 260 千円]
 G 7 教育大臣会合の富山開催を機に、各国に因んだ給食を提供し、児童生徒が給食を通して楽しみながら世界の文化や食を学ぶことで、本会合に向けた機運の醸成を図る。
- **学校給食の衛生管理の状況調査・改善指導**
 県内 7 カ所の給食施設を巡回し、衛生管理の徹底を図るための改善指導を行う。

- **栄養管理等の研修会の開催**
県内の栄養教諭・学校栄養職員を対象に、年1回、学校給食管理や食に関する指導について研修会を行う。(保健体育課)

- **栄養教諭等の配置**(教職員課、保健体育課)

- **学校での健康教育等の推進と家庭における健康づくりの支援**
児童生徒の健康診断結果等を分析し、生活習慣病等の予防対策を実施する。
また、健康な生活習慣づくり、歯科保健、近視予防、性感染症予防、喫煙・飲酒・薬物乱用防止、がん教育等について、実践活動の研究や啓発普及を行う。

- **薬物乱用防止教室講習会**
薬物乱用の有害性・危険性を啓発し、薬物乱用防止教育の充実を図るため教員等を対象に講習会を開催する。(保健体育課)

方向性② 少人数教育と校種間連携の推進

少人数指導と少人数学級それぞれの良さを活かした効果的な少人数教育の充実を図るため、少人数指導体制を維持しながら、少人数学級の拡充に取り組む。

また、小学校における専科指導体制の拡充により、高学年での教科担任制の充実に取り組む。

小学校入学時の保護者の不安解消や指導者の相互理解を深める合同研修会等の実施による幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な連携・接続、また、中学校進学時の新しい環境での学習や生活への円滑な連携・接続を推進する。

- **少人数教育推進事業** [317,601 千円]

国の計画に2年先行した小学校6年生まで全学年での35人学級の実施とともに、少人数指導と組み合わせた効果的な少人数教育推進のため、教員を増員するとともに非常勤講師を配置する。

- **小学校1～6年生での35人学級の実施**

- **小学校3年生～中学校3年生での少人数指導の実施**

- **小学校専科教員配置事業** [41,829 千円] [P.7、11にも記載]

中学校との円滑な接続を図るとともに、小学校高学年での教科担任制、英語の教科化や理科などの学習内容の高度化に対応するため、かつ、小学校教員の負担軽減のため、小学校3～6年生を対象に専科教員として、正規教員や非常勤講師を配置する。

(教職員課)

- **幼児教育の質の向上推進事業** [P.6に事業概要]

(小中学校課)

- **学びの体験オープンハイスクール事業** [476 千円] [P.25にも記載]

中学3年生が、各高等学校の教育内容の理解を深め、明確な目的意識を持って進学できるようにするための体験入学期間を設けるとともに、地域への授業公開を進めることで中高の円滑な接続、地域に信頼される学校づくりを推進する。

また、特別支援学校において、障害のある子供や保護者に、体験入学を通して最もふさわしい就学先について検討していく上での情報を提供し、適切で円滑な就学を推進する。

(県立学校課)

- **高大連携未来を拓く人材育成事業** [1,700 千円]

県内大学等と県立高等学校が連携し、大学教員・大学院生等が関わる専門性の高い特別授業や、探究科学科設置校による合同発表会等を開催する。

(県立学校課)

方向性③ 特別支援教育の充実

インクルーシブ教育システムの充実に向け、特別な教育的ニーズのある子どもの通常の学級や通級による指導、特別支援学級、特別支援学校と、連続性のある「多様な学びの場」を整備する。

また、障害のある子どもに合った多様な指導法や支援体制を充実し、適切な合理的配慮の提供を行うとともに、教員の指導力向上を図る。

・ とやまの特別支援教育強化充実事業[9,880千円] [P.25にも記載]

障害のある子どもが小学校就学前から高等学校卒業後に至るまでの各段階に応じて十分な指導と支援を受けられるよう、早期からの相談体制の整備、学校への支援の充実、就労支援の充実、教員の専門性の向上に向けた取組み等による特別支援教育の強化充実を図る。

- ・ 市町村の就学相談体制の整備に向け、小中学校巡回指導員を派遣
- ・ 一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に向け、専門的な指導助言を行う小中学校巡回指導員2名、高等学校巡回指導員2名を配置し、学校への支援を充実
- ・ オンデマンド研修コンテンツを作成し、研修機会を充実することにより教職員の専門性を向上

・ ④SDGs インクルーシブ教育システム推進事業[2,027千円]

推進員を配置し、研修や集会等を通して、障害のある子どもとない子どもの地域の学校での学び合いの充実に資する環境整備について普及啓発、指導助言にあたる。

- ・ インクルーシブ教育システムの理念の啓発のための情報発信
- ・ インクルーシブ教育推進員による小中学校に対する学びの場の見直しへの助言

・ 特別支援学校就労応援事業[7,327千円] [P.25にも記載]

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就労による自立と社会参加に向け、特別支援学校・企業・家庭・教育委員会が一体となって、さらなる就労支援の連携体制づくりを推進する。

- ・ 就業体験受入れ先の拡大に向けた特別支援学校就労応援コーディネーター2名及び職場定着に向けた障害者就労定着サポーター1名の配置
- ・ 就業体験等の協力企業による「特別支援学校就労応援団とやま」への登録促進と障害者雇用の理解啓発
- ・ 早期からの仕事体験や職場見学の機会を充実し、キャリア教育や就労支援を充実



パン屋での就業体験

- **脳特別支援学校医療的ケア体制整備事業** [61,934 千円]
 医療的ケアが日常的に必要な児童生徒等が在籍する県立特別支援学校への看護職員配置を行うことにより、児童生徒が健康で安全に学校教育を受けることができる環境を整備する。また、医療的ケア安全委員会への参加や看護職員への助言等を行うことのできる、医療的ケア指導チームを配置する。
- **特別支援学校通学運営** [269,292 千円]
 特別支援学校に通学する児童生徒の安全確保や遠距離通学に伴う負担の軽減、保護者の送迎に対する負担軽減を図るため、通学バスを運行する。
- **特別支援学校通学バス感染症対策事業** [143,068 千円]
 特別支援学校の通学バスの運行にあたり、新型コロナウイルス等の感染防止対策として、臨時増便により乗車率を抑え、通学時のリスクの軽減を図る。
 (県立学校課)
- **特別支援学校教諭免許状取得推進事業** [677 千円]
 特別支援学校教諭免許状の取得に必要な単位を集中開講し、現職教員の資質向上を図る。
- **特別支援学校司書配置事業** [2,286 千円]
 特別支援学校における学校図書館の充実を図り、児童生徒の読書意欲の向上や情報活用能力の育成を目的として、県立特別支援学校に巡回学校司書を配置する。
 (教職員課)
- **特別支援学校建設事業** [P. 26 に事業概要] (教育企画課)
- **特別支援学校の整備、修繕等** [P. 26 に事業概要] (教育企画課)

方向性④ 人権や思いやりの心を大切にする教育の推進

いじめや偏見・差別をなくし、互いに尊重し合い、好ましい人間関係を築く心と態度を育成する。

- いじめ総合対策推進事業 [P. 17 に事業概要]
- 画社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 [P. 17 に事業概要] (小中学校課)
- 人権教育総合推進事業 [1,905千円] [P. 17 にも記載]
人権教育に関する研修会を開催するとともに、啓発資料を作成・配布し、人権尊重についての認識をさらに深めるよう努める。(生涯学習・文化財室)
- 人権教育研究推進事業(国委託事業) [200千円] [P. 17 にも記載]
学校における人権教育に関する指導方法の改善・充実のため、モデル校を指定し、実践的な研究を行う。
- いのちの教育総合支援事業(国委託事業) [1,293千円] [P. 16 にも記載]
いのちの先生の派遣やいのちの教育講演会の開催、メッセージカードの活用等を通して、学校と家庭が一体となった、いのちの教育の推進を支援する。
- 道徳教育総合支援事業(国委託事業) [P. 17 に事業概要] (小中学校課)

基本方針 4 社会の変化と多様なニーズに対応した 高校や大学等の教育環境の充実

【目標】

様々なニーズに対応した教育環境の整備が進められ、子どもや若者が未来に希望を持って、魅力ある教育を受けられること。

方向性① 県立学校の教育環境の整備・充実

少子高齢化やグローバル化、第4次産業革命の進展など、教育を取り巻く環境が大きく変化し、今後の中学校卒業予定者数の大幅な減少が見込まれる中、より魅力と活力のある県立高校の教育のあり方について検討していくとともに、教育活動の充実や教育形態の改善、安全・安心な教育環境の整備に取り組むなど、本県の高校教育の一層の充実に努める。

・ 県立学校教育振興計画の推進 [600 千円]

「県立学校教育振興計画 基本計画」に基づき、生徒の学習環境の整備等を着実に推進するために必要な施策を実施する。

・ 県立学校整備等に関する検討事業 [2,200 千円]

「令和の魅力と活力ある県立高校のあり方検討委員会」の報告書を取りまとめるとともに、新たな検討会議を開催する。
(県立学校課)

・ 県立高等学校跡地活用推進事業 [125,000 千円]

令和4年3月に閉校となった県立高校の跡地の活用のため、用地の整備に向けた設計・調査業務や公有財産の取得等を行う。
(教育企画課、県立学校課)

・ 県とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 [20,700 千円] [P.7にも記載]

本県の児童生徒が他者と協働しながら新しい時代を創造する力を育成するため、課題解決型教育やSTEAM教育によるプロジェクト学習(PBL)のさらなる支援を行う。

・ 県立高校オープンイノベーション支援事業 [14,600 千円] [P.7にも記載]

教科等横断的な学習や地域課題等をテーマとした探究活動を行うために地域・大学・企業等との連携を促進するコーディネーターを配置するとともに、連携活動の動画による情報発信等を行う。

- **学びの体験オープンハイスクール事業** [P. 20 に事業概要] (県立学校課)

- **県立高校普通教室空調更新事業** [105, 191 千円]
 老朽化した県立高校普通教室の空調を更新する。

- **㊦県立高校特別教室の空調新設事業** [381, 500 千円]
 県立高校の特別教室へ空調を設置する。

- **㊦県立高校普通教室等 LED 化工事** [220, 000 千円]
 県立高校の普通教室等照明を LED 化する。

- **県立学校校舎外壁診断** [1, 075 千円]
 建築基準法の規定に基づく校舎外壁診断を行う。

- **県立学校天井落下防止対策** [10, 457 千円]
 県立学校 1 校の特別教室の天井落下防止対策を行う。

- **㊦高等学校建設事業** [2, 839, 272 千円]
 富山高校トレーニングハウス新設の実施設計、桜井高校武道場改築、氷見高校武道場改築の実施設計、旧泊高校建物等解体・撤去、旧高岡西高校建物等解体の実施設計、滑川高校、砺波工業高校及び富山いずみ高校長寿命化改修等を行う。

- **運動場等整備費** [139, 222 千円]
 富山東高校グラウンドの改修及び魚津高校テニスコートの改修等を行う。

- **学校修繕費（全日制・定時制）** [502, 730 千円]
 校舎等の修繕、防災対策等を行う。

- **㊦農業教育環境整備事業** [137, 806 千円] [P. 10 にも記載]
 農業学科を有する高校に、先進農業機械を整備する。

- **科学技術教育設備充実費** [27, 881 千円] [P. 10 にも記載]
 産業教育設備等の整備を進める。 (教育企画課)

- **ICT 教育推進事業** [P. 10 に事業概要] (教育企画課、県立学校課)

- **とやまの特別支援教育強化充実事業** [P. 17 に事業概要]

- **特別支援学校就労応援事業** [P. 17 に事業概要] (県立学校課)

- **特別支援学校建設事業** [473,777千円] [P.22にも記載]
高岡支援学校小学部棟増築を行う。
- **特別支援学校の整備、修繕等** [162,564千円] [P.22にも記載]
校舎等の修繕、教育設備の整備等を進める。 (教育企画課)

方向性② 私立学校教育の振興

私立学校の独自の建学の精神に基づく特色ある教育や魅力ある教育環境を整えるための施設・設備整備、経営健全化に対する取組みに対して支援するとともに、保育料や授業料等の教育費負担の軽減に努める。

- **私立学校経常費補助金（一般分）** [2, 158, 120 千円]
私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）における教育研究に必要な経常的経費（教職員の給与費、教育研究経費など）に対して支援する。
- **私立高等学校特色教育振興事業費補助金** [180, 000 千円]
スポーツ・文化活動、少人数教育、キャリア教育、ICT環境整備等の特色ある教育や、特別支援教育、教育相談体制充実等の多様な教育ニーズに対応した教育環境整備に対して支援するとともに、私立学校が自ら行う安全確保や経営健全化の取組みに対しても支援する。
- **私立幼稚園教育振興費補助金** [61, 107 千円]
教育相談や複数担任制の実施、小学校との連携、伝統芸能の承継、食育・環境教育の推進等の特色ある教育に対して支援する。
- **私立専修学校特色教育振興事業費補助金** [22, 600 千円] [P. 33 にも記載]
教育内容高度化や就職指導強化、産学官連携推進等の特色ある教育に対して支援する。
- **私立高等学校教育環境整備充実事業費補助金** [1, 000 千円]
特色教育推進施設、屋外教育環境等の整備に対して支援する。
- **私立幼稚園等教育環境整備事業費補助金** [2, 442 千円]
緑化の推進や保育室等の改修、屋外運動広場等の整備に対して支援する。
- **私立専修学校各種学校施設設備整備費補助金** [11, 500 千円]
大型設備や教育機器、専門ソフト・図書等の整備に対して支援する。

（経営管理部所管事業）

- **高等学校等就学支援金等** [1, 250, 524 千円]
 すべての意志ある生徒が安心して教育を受けられるよう、一定の収入額（年収 910 万円程度）未満世帯の生徒等を対象に高等学校等の授業料に充てるための「就学支援金」を支給する。
 また、高等学校等を中途退学した者が再び高等学校等で学び直す場合に、「学び直しへの支援」として、就学支援金支給期間経過後も継続して授業料の支援を行う（最長 1 年）。
- **国私立高等学校生徒奨学補助金** [176, 961 千円]
 就学支援金の支給に加え、授業料、入学時納付金の減免を行う学校法人に対して支援する。
 （年収 590～910 万円未満世帯の授業料を就学支援金（月 9, 900 円）と合わせて月 16, 500 円まで補助（④月 13, 200 円））
- **国私立高等学校等奨学給付金** [74, 764 千円]
 授業料以外の教育費負担を軽減するため、私立高等学校等に通う低所得世帯の生徒に対して「奨学のための給付金」を支給する。
 （生活保護世帯：52, 600 円（ただし、専攻科 52, 100 円）、その他の低所得世帯の第 1 子：137, 600 円、第 2 子以降：152, 000 円、通信制：52, 100 円、専攻科：52, 100 円）
- **私立小中学校生徒奨学補助金** [2, 352 千円]
 家計が急変した世帯の授業料の減免を行う学校法人に対して支援する。
- **施設型給付費支援事業** [1, 312, 951 千円]
 幼児教育の無償化実施に係る経費を含む、私立幼稚園、認定こども園等の運営、質の改善を支援する。
- **子育て支援施設等利用給付費** [27, 987 千円]
 幼児教育無償化の実施により、私立幼稚園の利用に要する費用の一部を負担する。
- **私立専門学校の授業料等減免事業費補助金** [127, 369 千円]
 私立専修学校に通う低所得世帯の生徒について、授業料及び入学金の減免を行う。
- **専門学校生の経済的支援実証研究事業** [3, 000 千円]
 私立専修学校に通う低所得世帯の生徒について、授業料減免や修学支援を行うとともに、その教育的効果検証のための調査を行う。
 （経営管理部所管事業）

方向性③ 大学教育・学術研究の振興

県内外の多くの優秀な学生を確保するため、教育水準の向上や学術研究の強化、相互の連携の活性化など県内高等教育機関の魅力向上に向けた取組みを支援するとともに、地域の課題解決や若者の県内定着を推進するため、県内高等教育機関との連携協力に積極的に取り組む。

県立大学の学部学科の新設・再編等による教育研究分野の拡充や定員増など、地方創生の一翼を担い、地域間競争を勝ち抜く魅力ある大学づくりへの支援を行う。

- **4年制私立大学に対する寄附講義** [3,000千円]
地域に貢献する人材の育成に寄与し、学生にとって魅力ある内容の講義を、富山県の寄附講義として実施し、4年制私立大学の教育の充実・活性化を支援する。
 - **(公財)富山県ひとづくり財団運営費補助金** [1,254千円]
富山県ひとづくり財団の運営費に対し支援する。
 - **㊦私立大学等振興事業費補助金** [7,500千円]
富山県ひとづくり財団の私立大学等振興事業に関する助成に対し支援する。
 - **大学コンソーシアム富山事業費等補助金** [7,867千円]
単位互換、魅力ある県内企業を訪ねるキャリアデザイン応援事業（職場訪問研修）、グローバルチャレンジ入門講座など、県内高等教育機関が連携して行う教育・学生支援や地域貢献の取組みに対し支援する。
 - **㊦富山県高等教育シンポジウム開催事業** [2,000千円]
G7教育大臣会合の開催に併せ、県内の各高等教育機関の特色ある取組みを発表するシンポジウムを開催する。
(経営管理部所管事業)
- 【「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアムの推進】**
地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業 [315,190千円]
県内産学官連携による医薬品の研究開発・人材育成
(厚生部所管事業)

【とやまアルミコンソーシアムの推進】

アルミ産業成長力強化戦略推進事業 [63, 170千円]

県内アルミ産業振興のため、アルミのリサイクル（グリーン化）に向けた取り組みや人材育成を推進するとともに、業界の規制緩和や課題の解決に向けた取組みを支援するもの。

【とやまヘルスケアコンソーシアムの推進】

ヘルスケア産業育成創出事業 [54, 697千円]

産学官連携によるヘルスケア分野の新製品開発や事業化のため、試作実証や技術的課題の解決に向けた取組み等を支援する。

(商工労働部所管事業)

• **公立大学法人富山県立大学運営費交付金** [2, 945, 251千円]

大学運営や教育研究に必要な標準的経費（教職員の人件費、教育研究費など）に対し支援する。

• **県立大学の学科拡充等に伴うプロジェクト事業への支援** [748, 682千円]

④**新学部整備事業費補助金** [328, 962千円]

④**D X教育研究センター運営費補助金** [59, 750千円]

④**広報・学生募集事業費補助金** [42, 300千円]

④**県内就職定着促進事業費補助金** [30, 368千円]

④**大学院看護学研究科・看護学専攻科運営費補助金** [4, 430千円]

④**ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業** [4, 800千円] [P. 33にも記載]

本年4月に大学院看護学研究科及び看護学専攻科を設置し、より高度な教育研究活動や地域ニーズに即した保健師・助産師の育成に取り組むとともに、多様なD X・データサイエンス人材を育成する「情報工学部（仮称）」の令和6年4月の開設に向けて準備を進める。

また、D X教育研究センターにおけるオープンイノベーションを推進し、産学官の教育研究拠点として多様なデジタル人材の育成を推進するとともに、成長を続ける大学イメージの戦略的な広報及び新学部開設も見据えた学生募集活動の強化、看護学部生を含む学生の県内定着に向けた就職支援の充実のほか、省エネルギー化・グリーン化に対応する計画的な施設更新等に対して支援する。

(経営管理部所管事業)

- **ポートランド起業・ビジネス研修実施事業** [19,757 千円]

県内大学生等の起業家マインドを醸成するため、「起業の街」である米国オレゴン州ポートランド等において、起業家支援施設やベンチャー企業、大学等への訪問や、グループワークなどの研修を実施する。

- **県内大学生等留学支援事業** [5,200千円]

海外に留学する県内大学生等を経済的に支援するため、県内企業への一定期間勤務を返還免除要件とした奨学資金を貸与する。

(経営管理部所管事業)

基本方針 5 生涯を通じた学びの推進

基本施策の目標：

すべての世代の県民が、それぞれの目的やニーズ、社会の新たな課題に応じて、学習の機会や場を選択して学び、その成果を地域で還元し、活躍の場が提供されていること。

方向性① 多様な学習活動の支援

生涯学習講座の開催や、ライフステージに応じて県民一人ひとりが多様な学習機会を得られるよう支援する。

- 県民カレッジ本部の運営 [20,465 千円]
夏季講座、カレッジ自遊塾等を開催する。
- 県民カレッジ地区センターの運営 [33,133 千円]
- 富山県映像センターの運営 [4,668 千円]
- つながる学びわくわく講座 [1,941 千円] [P.34にも記載]
ウィズコロナの社会において、他とつながる喜びを取り戻すため、体験と学びを通じた「つながる楽しさ」を提供する講座（28講座）を実施する。
- ⑩ウェルビーイング実現講座 [2,800 千円]
地域、健康、居住、人間関係、自然など各分野の観点から、ウェルビーイングを学ぶ「地区センター講座」と、県外から著名人を招いて、総論的な内容で講演会を開催する「本部講座」を実施する。
- ⑪公民館 de つながるモデル事業 [P.3に事業概要]
- 青少年教育、女性教育、成人教育等の普及啓発を实践する社会教育団体の支援
[32,371 千円]
(生涯学習・文化財室)

方向性② 県民の学習を支える基盤整備

県民にとって身近な学習機会に関する情報提供の充実や学習成果を学校、地域、企業等と連携して地域づくりなどに活用する「学び」と「活動」が循環する環境の整備を進める。

- 「とやま学遊ネット」の運用 [6, 292 千円] [P. 34 にも記載]
生涯学習情報のリアルタイムでの提供や、とやま公民館学遊ネットによる公民館からの地域情報発信を支援する。
- 県立図書館の運営 [79, 997 千円]
- ⑧ 県立図書館機能向上検討・整備事業 [24, 150 千円]
県立図書館の既存施設を有効に活用しながら、新しい魅力を創出するためのあり方を検討するとともに、利用者の利便性の向上と安全面の確保を図る改修等を行う。
- ⑨ 県立図書館・富山市立図書館連携多文化理解推進事業 [1, 000 千円]
G 7 教育大臣会合の開催を受け、県と富山市が連携して、G 7 参加国に関連した企画展示や展示本の著者によるトークイベント等を開催する。
(生涯学習・文化財室)

方向性③ キャリアを磨く実践的な学びの推進

大学等への社会人受入れなどのリカレント教育や、専修学校等が行う実践的な職業教育や専門的な技術教育など、生涯に何度でも学べる環境づくりを行い、県民ニーズに対応した多様な教育の充実に努める。

- 県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業 [4, 800 千円]

社会人の学び直しのほか、企業等が抱える課題やニーズに応えるため、講座型（レディメイド型）セミナーのほか、知識と技術のアップデートと付加価値の高い財・サービスの提供が求められる個々の企業等のニーズ等に即したカスタムメイド型のセミナーを機動的に実施する。



県立大学ビジネスパーソン

スキルアップ支援事業

- 高等教育機関リカレント教育推進事業費補助金 [500 千円] スキルアップ支援事業
高等教育機関が行う社会人等を対象とした短期間講座の開催に対して支援する。
- 私立専修学校特色教育振興事業費補助金 [P. 27 に事業概要]
- 私立専修学校等リカレント教育推進事業費補助金 [650 千円]
私立専修学校等が行う社会人等を対象とした短期間講座の開催に対して支援する。
(経営管理部所管事業)

基本方針 6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

【目標】

子どもや県民一人ひとりが、ふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育むこと。

方向性① 学校におけるふるさと学習の推進

郷土の自然、歴史・文化、産業や先人の英知や偉業、郷土の食文化等への理解を深め、ふるさとを思う心と広い視野に立って社会に貢献していこうとする態度を育む取組みを推進する。

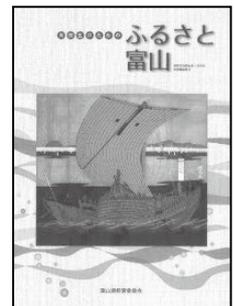
- ・ ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 [P. 7 に事業概要]

- ・ 郷土に対する理解や愛着心の育み

社会科や道徳科の時間における郷土の偉人や歴史、産業に関する学習活動、総合的な学習の時間や特別活動における伝統文化の伝承活動等を促進する。
(小中学校課)

- ・ 高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 [537 千円]

県立高等学校において、デジタル化補助教材を用いた郷土史・日本史学習を行うことで、高校生がふるさと富山について理解を深める契機とする。
(県立学校課)



高校生郷土史・日本史学習補助教材
「高校生のためのふるさと富山」

- ・ 高等学校生徒海外派遣事業 [P. 11 に事業概要]

(県立学校課)

方向性② 家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興

家庭、地域、企業等が一体となって、ふるさとの自然や歴史、くらし、産業等を学び、親しむ機会を充実し、ふるさと富山に誇りと愛着を育む取組みを推進する。

- ・ ㊦公民館 de つながるモデル事業 [P. 3 に事業概要]

- ・ つながる学びわくわく講座 [P. 32 に事業概要]

- ・ 「とやま学遊ネット」の運用 [P. 33 に事業概要]

- 「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 [795 千円]
中高生を対象にふるさと文学を通して心に浮かぶ情景や心情を文芸や美術、写真で表現する作品を募集し、「ふるさと文学」に親しみ、郷土を一層深く理解しようとする機運を高める。
- ⑨郷土資料デジタル化整備事業 [2,000 千円]
県立図書館で所蔵する古書や絵図などの貴重な郷土資料をデジタル化し、ホームページ上で公開することにより県民の利活用を促進する。
(生涯学習・文化財室)

方向性③ 高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興

「大伴家持と越中万葉」をはじめ、富山の自然や風土、人の営みから生まれたふるさと文学を学び楽しむことを通して、ふるさとへの誇りや愛着を育むとともに、地域社会や全国、世界で活躍する人材を育成する。

- 文学を楽しもう！移動文学館事業 [900 千円]
ふるさと文学作品等の内容を小中学校に出張展示する。
- ゆかりの作家ライブラリー事業 [1,000 千円]
富山ゆかりの作家等のインタビュー映像を制作し、常設展示室で展示する。
- 高校生のための令和万葉教室 [353 千円]
万葉集の研究者等が高校生に対して講演を行い、大伴家持・越中万葉に関する普及啓発を行う。
- ⑩大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞贈呈式等開催事業 [13,920 千円]
大伴家持生誕 1300 年を記念し創設された上記 2 つの賞の第 3 回贈呈式を開催するとともに、子ども向けに家持や越中万葉の普及啓発を行うワークショップを実施。
- 高志の国文学館企画展開催事業 [36,511 千円]
富山県ゆかりの文学やアニメ、映画など幅広いジャンルの企画展を開催する。



高志の国文学館企画展
(生活環境文化部所管事業)

方向性④ 伝統文化の保存・継承

貴重な伝統文化の県民による再認識、発信に努め、その継承、発展を図るとともに、富山らしい魅力ある地域資源を発掘し、さらにその価値を高め、新しい魅力の創造につなげるなど、ふるさとへの誇りや愛着を持ちながら魅力ある地域づくりを進めようとする地域や県民主体の取組みを促進する。

- 国・県指定文化財の保存修理事業への支援 [49,000 千円]
越中五箇山相倉集落の保存修理など、国・県指定文化財保存修理事業 29 件への支援を行う。

- 文化財建造物等活用推進事業 [14,294 千円]
文化財建造物の美装化や公開活用促進のための防災・防犯設備整備 2 件への支援を行う。

- ④ 国宝指定記念勝興寺魅力発信事業 [8,000 千円]
勝興寺の国宝指定を記念し、県、市、勝興寺等により勝興寺宝物展等を開催する。



国宝勝興寺全景

- 文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 [300 千円]
県内を訪れる外国人観光客に対応するため、ノウハウ講座や情報交換会を各 1 回開催し、文化財ボランティアのおもてなし力の向上を図る。

- ユネスコ無形文化遺産情報発信事業 [600 千円]
ユネスコ無形文化遺産に登録された 3 つの曳山行事の普及啓発事業等の取組みを支援する。



高岡御車山祭



魚津タテモン祭



城端曳山祭

【ユネスコ無形文化遺産登録行事】

- 富山ヒストリーチャレンジアップ事業 [2,000 千円]
県内各地域の遺跡からの出土品を活用し、体験活動や学校等への出前授業、講座の開催などを通して、未就学児や児童生徒から大人までが郷土の歴史に親しみ、県民のふるさとの歴史や文化を愛する心を醸成する。
(生涯学習・文化財室)

基本計画 7 次世代を担う子どもの文化活動の推進

【目標】

次世代を担う子どもたち一人ひとりが、幅広く芸術文化に親しみ、身近な活動に参加することで、子どもたちが豊かな感性と表現力をもった社会人となるよう育まれていること。

方向性① 子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進

子どもたちが質の高い文化を鑑賞し、文化の創造活動に参加し、文化を通じて人と出会い、交流し、一緒に力を合わせるなど、かけがえのない体験をする機会を拡充する取組みを推進する。

- **次世代育成音楽ふれあい事業** [22,000 千円]

次世代を育成するため、学校コンサート、室内楽フェスティバル、親子で楽しむコンサート、ミュージアムコンサート、国際音楽交歓コンサートの開催など、県民に身近な場所で質の高い音楽鑑賞の機会を創出する。



次世代育成音楽ふれあい事業

- **とやまアーティストマッチング事業** [9,500 千円]

保育園・幼稚園や学校での公演、指導など、県民の活動依頼に合わせた県内芸術家等の派遣等を実施。

- **青少年美術展、とやまこども舞台芸術祭開催支援事業** [3,590 千円]

- **美の祭典 越中アートフェスタ開催事業費負担金** [5,300 千円]

子どもからプロ作家までが一堂に参加する公募美術展を開催する。

(生活環境文化部所管事業)

方向性② 学校における文化活動の充実

児童生徒が幅広く芸術文化を鑑賞するとともに、芸術文化団体等や企業と連携して、学校が発表・交流の機会や創造活動のきっかけとなる場を提供することにより、豊かな感性と創造性をもった人間を育成する取組みを推進する。

- 中学校文化連盟への支援 [1,800千円]

富山県中学文化祭開催等に係る活動を支援する。

- 高等学校文化連盟への支援 [12,429千円]

加盟23専門部について、富山県高等学校文化祭開催等に係る活動を支援する。



県高等学校文化祭

- スクールバンド育成事業 [740千円]

県内中学・高校の吹奏楽部生徒が、プロの演奏家による技術指導を受ける機会を提供する。

- 全国大会出場に対する支援 [1,700千円]

吹奏楽や放送、囲碁・将棋等の全国大会に出場する団体や個人に激励費を支給する。

- ⑩ 高校生のアイデアを集結「アートのちから」事業 [1,400千円]

高校生が著名文化人による指導を受け芸術によるまちづくり等を学び、自らの企画立案によるアートイベントを開催する。

- 文化部活動の地域移行に向けた支援事業 [3,532千円]

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、実証事業等を実施する。

(生涯学習・文化財室)

方向性③ 文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興

子どもたちの「想像力」と「創造力」を豊かにするため、本県の多彩な文化施設を、学校教育における利用等も含めて効果的に活用し、体験型文化活動や双方向の芸術文化体験の機会を充実する取組みを推進する。

特に、富山県美術館については、子どもたちをはじめ幅広い世代が、いろいろな形で美術とふれあうなど、学校教育や生涯学習施策等と連携した教育学習・活動の拠点となるとともに、子どもたちの感性や創造性などを育む「人づくり」の観点からも取組みを進め、地域に開かれた美術館となるよう、活動を充実させる。

また、富山県利賀芸術公園については、国内外の舞台芸術機関との連携などによる人材育成事業の充実を図る。

さらに、県立文化施設の持つ機能の充実・強化を図るため、設備等の修繕を計画的に実施する。

- **富山県美術館企画展の開催** [166,144 千円]
家族で楽しめる子ども向け企画展「ジブリ」展（仮称）や、「大竹伸朗」展等を開催する。
- **富山県美術館の教育普及活動** [18,411 千円]
みる（展示室）、つくる（アトリエ）、発表する（ギャラリー）の3つの要素を盛り込んだ教育普及プログラムなどを実施する。
- **県立文化施設機能強化推進事業** [200,000 千円]
県立文化ホールや博物館の設備等の機能向上や修繕を計画的に実施する
(生活環境文化部所管事業)

基本方針 8 スポーツに親しむ環境づくりの推進

【目標】

県民の誰もが、それぞれの興味、関心、適性等に応じて、スポーツを「する、みる、支える」活動に参画し、主体的にスポーツを楽しんでいること。

方向性① 県民がスポーツに親しむ環境づくり

県民参加型のイベントや競技大会の開催により、年齢や障害の有無に関係なく県民が気軽にスポーツ活動に参加できる機会の充実に取り組むとともに、地域のスポーツクラブの活性化や誰もが楽しめる文化スポーツ施設の整備等により、県民がスポーツに親しむ場の充実に努める。

- 「富山マラソン 2023」の開催 [89,620 千円]

スポーツの振興や新たな富山県の魅力の創造、人的交流の拡大を目的として、これまでの大会に引き続きマラソン大会を開催する。



富山マラソン 2022

- 富山県スポーツフェスタの開催 [10,110 千円]

子どもから高齢者まで、トップアスリートからスポーツ・レクリエーション愛好者までの幅広いスポーツ志向に対応した、県主催の県内最大規模の総合的なスポーツ大会である富山県スポーツフェスタを開催する。

- ⑨ 県民スポーツ機会創出事業 [5,770 千円]

県民のスポーツ活動への参加を促進し、体験型スポーツイベントや地域スポーツ教室を開催して、スポーツに親しむ機会を創出する。

- 県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催 [3,700 千円]

富山県民歩こう運動推進大会を開催する。

(生活環境文化部所管事業)

- **総合型地域スポーツクラブの質的充実に向けた支援** [6,008千円]
研修会の開催や巡回指導により総合型地域スポーツクラブの運営をサポートする。また、クラブの連携促進のため、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会等を支援する。
- **県営スポーツ施設の利用促進** [500,820千円]
- **県営スポーツ施設の整備** [250,000千円]
- **富山県武道館整備事業** [20,000千円]
- **県立学校の体育館、グラウンド等の地域住民への開放** [5,245千円]
(生活環境文化部所管事業)

方向性② 学校等における体育・スポーツの充実

たくましい心と体を持った子どもを育成するため、学校や家庭、地域が一体となり、遊びや運動に親しむ機会を増やすことで、子どもたちの運動の習慣化や体力向上の取組みを推進するとともに、中学・高校の運動部活動の活性化を図る。

- とやま元気っ子スポーツライフサポート事業

[800千円] [P. 18、45にも記載]

幼・保、小・中学校に地域人材を派遣し、運動遊びや体育の授業の充実を図るとともに

指導力の向上や異校種間の系統性・連続性のある体制づくりの構築を図る。



とやま元気っ子スポーツライフサポート事業

- とやまっ子ワクワク運動体験応援事業 [5,756千円] [P. 18にも記載]

児童生徒の豊かなスポーツライフの実現に向け、児童の運動継続と健康的な生活習慣を支援するWebアプリを活用し、幼児期から中学生期までの「運動好き」な子供の育成を図る。



地域部活動推進事業

- ⑨地域部活動実証事業

- ・ 応援企業の登録及び表彰

[計 33,275千円]

令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向け、人材確保や費用負担、運営団体の確保等の課題に総合的に取り組むため、拠点校（地域）において実証事業を実施するとともに、部活動を支援する企業の登録を開始し、表彰制度について検討する。

(保健体育課)

- ・ 部活動指導員配置促進事業 [P. 15に事業概要]

(保健体育課、教職員課)

- ・ スポーツエキスパート派遣事業 [12,055千円]

[P. 18、45にも記載]

県立学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者をテクニカルエキスパート、トレーニングエキスパートとして派遣する。また、市町村が行う中学校へのスポーツエキスパート派遣についても支援する。



スポーツエキスパートの活用

- ・ 武道指導者資質向上支援事業（国委託事業） [4,301千円] [P. 45にも記載]

各校で実施している武道の授業に地域の人材を派遣するとともに、教員の指導力の資質向上を図る。

- 全国大会等出場に対する支援 [49,073千円]
- 「環日本海インターハイ親善交流大会」への選手団の派遣 [5,568千円]
中国遼寧省で開催予定の富山県、中国遼寧省、韓国江原道、ロシア沿海地方の高校生のスポーツ交流大会に選手団を派遣する。
- ㊦全国高等学校総合体育大会運営費補助事業 [42,054千円]
本県で開催される全国高等学校総合体育大会第73回全国高等学校スキー大会において、4競技の種目別大会開催を支援する。(保健体育課)

方向性③ 全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成

ジュニア期から個人の特性や発育発達段階に応じて強化に取り組む一貫指導体制を推進するなど、全国や世界の檜舞台で活躍できるトップアスリートの育成を目指した強化施策の推進や強化拠点の整備・推進を図るとともに、トップアスリートの活躍を県民総ぐるみで応援する環境づくりを推進する。

- 国際競技力向上推進事業 [2,000千円]
年代別日本代表選手等の海外大会参加等の支援を行い、オリンピックに出場する本県選手の倍増を目指す。
- 未来のアスリート発掘事業 [6,000千円]
スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭等と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材の育成をサポートする。
- とやまスポーツ道場開催事業 [20,000千円]
拠点スポーツ施設等を活用した練習会等に加えて、県内合宿や県外遠征の実施により、競技ごとに豊かな素質を持つ中・高校生の長期的な育成・強化活動の充実を図る。(20競技)
- 小学生駅伝普及事業 [600千円]
- 重点種目強化事業 [10,500千円]
県民の関心の高い3競技(サッカー、野球、駅伝)について、効果的な強化策を実施する。(生活環境文化部所管事業)

- **スーパートレーナー設置事業** [6, 155千円]
 オリンピック等で日本代表選手をサポートした経験のある専門知識を有したトレーナーの県代表選手への支援により競技力向上を図る。
- **TOYAMAアスリートマルチサポート事業** [9, 200千円]
 スポーツ医・科学に基づく一貫した体カトレーニング体制を構築し、将来オリンピックや世界で活躍できる選手を育成する。
- **トップアスリート育成・強化事業** [156千円]
 国立スポーツ科学センター（JISS）やナショナルトレーニングセンター（NTC）との連携による、選手強化・指導者の資質向上を図る。
- **高額特殊備品等整備事業** [4, 000千円]
- **IoTを活用したスポーツ競技力向上支援事業** [6, 000千円]
 IoTを活用して得られる競技データを分析、戦略に活かすことができる指導者（アナリスト）を育成する。
- **県スポーツ選手強化支援（合宿・遠征、中体連・高体連強化等）** [146, 601千円]
- **国民体育大会への本県選手の派遣** [114, 146千円]
 （生活環境文化部所管事業）
- **障害者スポーツの全国大会・国際大会出場に対する支援** [3, 000千円]
 障害者スポーツの全国大会及び国際大会に出場する選手の経費の一部を助成し、障害者スポーツ活動の促進を図る。
 （生活環境文化部所管事業）

- **富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業** [9, 000千円]
 元気とやまスポーツ応援基金を活用し、オリンピック等で活躍が期待できる本県選手や指導者の活動を支援する。
 （生活環境文化部所管事業）

方向性④ スポーツを支える人材の育成と活用

多様化する県民のスポーツ活動へのニーズに答えられる質の高いスポーツ指導者や、県民の様々なスポーツ活動の企画や運営を支えるスポーツボランティア、国際大会等で活躍したトップアスリートなど、スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の提供に努める。

- 「パスネットとやま」による指導者等の情報提供
- 少年種別指導者資質向上派遣事業 [717千円]
(生活環境文化部所管事業)
- とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 [P. 42 に事業概要]
- 囀部活動指導員配置促進事業 [P. 15 に事業概要] (保健体育課、教職員課)
- スポーツエキスパート派遣事業 [P. 42 に事業概要]
- 人材バンクの構築 [3,000千円]
「パスネットとやま」を改修し、現場のニーズと指導者とのマッチングを支援する。
- 武道指導者資質向上支援事業（国委託事業） [P. 42 に事業概要]
- 派遣社会教育主事（スポーツ担当）の全市町村への配置
市町村の生涯スポーツ振興を支援する。
- 中学校体育連盟や高等学校体育連盟への活動支援 (保健体育課)

- **県スポーツ推進委員協議会の活動支援** [1,150千円]
- **安全登山講習会の開催** [270千円]
富山県山岳連盟等と連携し、安全な登山の普及と指導できるリーダーの養成を図る。
- **富山県体育協会の活動支援** [86,108千円]
- **富山県生涯スポーツ協議会や加盟団体の活動支援** [9,427千円]
- **スポーツの普及・振興に尽力した個人・団体、スポーツ活動で優れた成果を収めた個人・団体への賞の贈呈** [672千円]

(生活環境文化部所管事業)

方向性⑤ プロスポーツや企業と連携した地域の活性化

県内のプロスポーツチームと連携したイベント等の開催や、各チームが取り組む地域貢献活動への支援などにより、スポーツを通じた地域の活性化を図る。

- **⑤ プロスポーツチームによるキャリア教育推進事業** [3,600千円]
プロスポーツチームの資源・ノウハウを活用し小中学生向けの技術指導事業を実施する。
- **⑥ プロスポーツチーム地域貢献活性化事業** [7,500千円]
プロスポーツチームが取り組む地域貢献事業や地域活性化事業の経費を支援する。
- **福祉施設児童ホームゲーム招待事業** [1,800千円]
児童養護施設の児童や障害児等のホームゲームへの無料招待に対して経費を支援する。
(生活環境文化部所管事業)

基本方針 9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生

【目標】

学校や地域、企業等の連携のもと、教育を通じた地域の産業、社会を支える人材育成や、意欲と能力ある若者の県内定着、地域の活性化が進められていること。

(1) 地域を支える人材の育成

学校と地域や企業などが連携した取組みや地域資源を活かした教育活動を推進するとともに、地域を理解し愛着を深めるふるさと教育を基盤としたキャリア教育やライフプラン教育の充実、高等教育機関等への支援により、地域の産業や社会を支える人材の育成を推進する。

- ・ 土曜日の豊かな教育活動推進事業 [P. 2 に事業概要]
(生涯学習・文化財室、県立学校課)
- ・ ㊦公民館 de つながるモデル事業 [P. 3 に事業概要]
- ・ 放課後子ども教室推進事業 [P. 3 に事業概要] (生涯学習・文化財室)
- ・ ㊧社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 [P. 17 に事業概要]
- ・ とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 [P. 10 に事業概要] (小中学校課)
- ・ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 [P. 10 に事業概要]
- ・ 富山型キャリア教育充実事業 [P. 9 に事業概要] (県立学校課)

- ・ 私立高等学校キャリアプランニング推進事業 [P. 9 に事業概要]
(経営管理部所管事業)

方向性② 若者の県内定着の促進

ふるさとに誇りと愛着を持ち、未来の郷土を支え、社会に貢献する人材の育成に努める。

- ・ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 [P. 10 に事業概要]
- ・ 富山型キャリア教育充実事業 [P. 9 に事業概要] (県立学校課)
- ・ 私立高等学校キャリアプランニング推進事業 [P. 9 に事業概要] (経営管理部所管事業)

方向性③ 富山ならではの教育の推進

Society 5.0 といわれる超スマート社会や人生 100 年時代という変化の激しい時代において、ICT を活用した新しい教育様式による未来の富山を担う人材を育成する。

また、ふるさとへの誇りと愛着を持ちながら、国際的素養を身につけ、地域や国際社会が抱える課題を解決できるグローバル人材を育成する。

ものづくり産業をはじめとする地域産業を担うデジタル技術など先端技術を活用できる人材を育成する。

- 教育環境のデジタル化推進事業 [P. 8 に事業概要] (教育企画課)
- ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 [P. 7 に事業概要] (小中学校課)
- とやま型スーパーグローバルハイスクール事業 [P. 11 に事業概要] (県立学校課)

第2節 教育行政一般

1 富山県教育委員会

(1) 構成（令和5年4月1日現在）

教育長	荻布佳子	教育長職務代理者	坪池宏
委員	町野利道	委員	村上美也子
委員	大西ゆかり	委員	黒田卓

(2) 議決事項〈令和5年〉

*は非公開

	年月日	標 題	主務課(室)	備考
1	R5. 1. 16	富山県生涯学習審議会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
2	R5. 1. 16	富山県社会教育委員委嘱の件	生涯学習・文化財室	*
3	R5. 2. 14	公立学校教員の採用の選考資格に関する規程一部改正の件	教職員課	
4	R5. 2. 14	令和5年2月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件	教育企画課	*
5	R5. 3. 7	教育職員の人事異動に関する件	教職員課	*
6	R5. 3. 17	富山県教育委員会行政組織規則一部改正の件	教育企画課	
7	R5. 3. 17	富山県教育委員会の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき市町村が処理する事務の範囲を定める規則一部改正の件	教育企画課	
8	R5. 3. 17	教育長に対する事務委任等に関する規則一部改正の件	教育企画課	
9	R5. 3. 17	富山県教育委員会文書管理規程一部改正の件	教育企画課	
10	R5. 3. 17	富山県立学校文書管理規程一部改正の件	教育企画課	
11	R5. 3. 17	富山県民生涯学習カレッジ条例施行規則一部改正の件	生涯学習・文化財室	
12	R5. 3. 17	富山県文化財保護条例施行規則一部改正の件	生涯学習・文化財室	

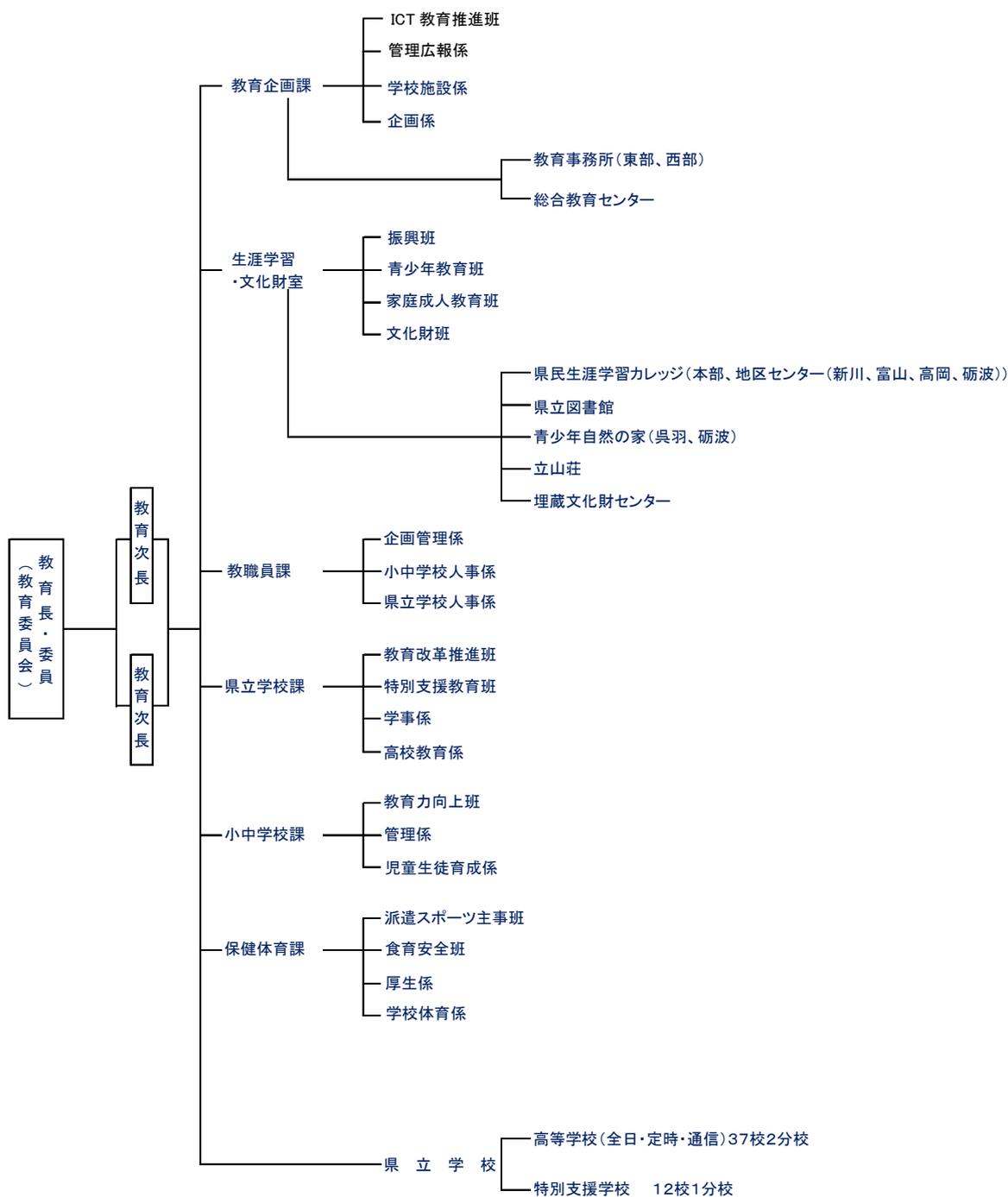
	年月日	標 題	主務課(室)	備考
13	R5. 3. 17	富山県博物館の登録に関する規則一部改正の件	生涯学習・文化財室	
14	R5. 3. 17	富山県教育職員免許状に関する規則一部改正の件	教職員課	
15	R5. 3. 17	教育に関する事務の点検及び評価に係る学識経験者の委嘱の件	教育企画課	*
16	R5. 3. 17	事務局職員の人事異動に関する件	教育企画課	*
17	R5. 4. 21	令和6年度使用義務教育諸学校用教科用図書採択に係る諮問事項の件	小中学校課	*
18	R5. 4. 21	令和5年度富山県教科用図書選定審議会委員任命の件	小中学校課	*
19	R5. 5. 26	令和5年度富山県教科用図書選定審議会委員変更の件	小中学校課	*
20	R5. 5. 26	令和6年度使用義務教育諸学校用教科用図書採択に係る諮問事項の件	小中学校課	*
21	R5. 6. 30	富山県生涯学習審議会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
22	R5. 6. 30	富山県社会教育委員委嘱の件	生涯学習・文化財室	*
23	R5. 6. 30	富山県いじめ防止対策推進委員会委員任命の件	小中学校課	*
24	R5. 7. 10	令和6年度富山県立高等学校及び富山県立特別支援学校高等部・幼稚部の入学者選抜日程決定の件	県立学校課	
25	R5. 7. 10	令和6年度富山県立学校募集定員等決定の件	県立学校課	
26	R5. 7. 10	富山県立高等学校通学区域設定規則廃止の件	県立学校課	
27	R5. 8. 31	「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標」について	小中学校課	
28	R5. 8. 31	富山県青少年自然の家指定管理候補者選定委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
29	R5. 9. 29	令和5年度教育功労者等表彰の件	教育企画課	*
30	R5. 9. 29	富山県スポーツ推進審議会委員の任命に対する意見に関する件	保健体育課	*
31	R5. 10. 16	令和5年度教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（令和4年度分）の件	教育企画課	

	年月日	標 題	主務課(室)	備考
32	R5. 10. 16	令和 6 年度富山県立高等学校入学者募集要項制定の件	県立学校課	
33	R5. 10. 16	令和 6 年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項制定の件	県立学校課	
34	R5. 11. 13	富山県民生涯学習カレッジ条例施行規則一部改正の件	生涯学習・文化財室	
35	R5. 11. 13	令和 5 年度末教員異動方針に関する件	教職員課	
36	R5. 11. 13	富山県民生涯学習カレッジ運営会議委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
37	R5. 12. 28	富山県指定有形文化財の指定の件	生涯学習・文化財室	
38	R5. 12. 28	富山県登録無形民俗文化財の登録の件	生涯学習・文化財室	
39	R5. 12. 28	令和 5 年度富山県教育委員会表彰（学校給食優良学校等）の件	保健体育課	*
40	R5. 12. 28	令和 5 年度富山県教育委員会表彰（健康教育実践優良学校）の件	保健体育課	*

2 県教育委員会行政機構

(1) 組織機構図

(令和5年4月1日現在)



(2) 教育委員会事務局 所管事項

【本庁（6室課）】

課名	班・係名	所管事項
教育企画課	ICT教育推進班 管理広報係 学校施設係 企画係	ICT教育推進の基本方針、教育環境のデジタル化推進委員会、校務用LAN・教育NOC 事務局職員の人事、給与、予算、表彰、広報等 県立学校施設の整備及び管理、文教施設国補事業 教育問題研究、政策評価、調査統計
生涯学習 ・文化財室	振興班 青少年教育班 家庭成人教育班 文化財班	生涯学習の振興及び社会教育施設の整備・管理 青少年教育の推進、青少年団体の育成 成人・女性・家庭教育の推進、社会教育団体育成、 公民館の指導 文化財の保護、顕彰、文化財保護団体の育成
教職員課	企画管理係 小中学校人事係 県立学校人事係	学校事務職員の人事、教職員の給与、予算、研修 小中学校教育職員の人事、給与、服務 県立学校教育職員の人事、給与、服務
県立学校課	教育改革推進班 特別支援教育班 学事係 高校教育係	県立高校再編、学級編成 特別支援教育指導 授業料、育英奨学 高等学校教育指導
小中学校課	教育力向上班 管理係 児童生徒育成係	幼・小・中学校教育指導 幼稚園保育料、就学奨励 小・中・高等学校生徒指導
保健体育課	派遣スポーツ主事班 食育安全班 厚生係 学校体育係	市町村社会体育・スポーツの振興 学校の保健、安全、健康管理、学校給食の指導 教職員の福利厚生、共済組合 学校体育の指導

【出先機関及び教育機関】

機関名	所管事項・設置目的等
教育事務所（東部・西部）	小・中学校教員の人事、給与、研修、指導
県民生涯学習カレッジ （本部、新川・富山・高岡・砺波地区 センター）	生涯学習の振興、講座開設
総合教育センター	教育研究、教員研修、教育相談、生徒実習
県立図書館	図書・記録・その他資料の収集整理保存、閲覧・貸出
青少年自然の家（呉羽・砺波）	青少年の集団宿泊訓練、野外活動の推進
立山荘	レクリエーションの振興を図る施設の提供
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財の調査研究、収蔵及びその活用

3 県教育事務所

県教育事務所は、県教育委員会事務局の出先機関として、東部、西部の2ヵ所に設置し、管内小・中学校職員の服務規程、各学校の教育指導、社会教育の指導等の業務を行っている。

その名称、位置、所管区域は次のとおりとなっている。

(令和5年4月1日現在)

名称	位置	所管区域
東部教育事務所	富山市	富山市、魚津市、黒部市、滑川市、朝日町、入善町、舟橋村、立山町、上市町
西部教育事務所	高岡市	高岡市、氷見市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市

4 市町村教育委員会

〈組織別教育委員会数〉

(令和5年4月1日現在)

区分	市	町	村	計
委員5人制	10	4	1	15
委員3人制	—	—	—	—
計	10	4	1	15

第3節 教育財政

＜令和5年度 当初予算の概況＞

(1) 一般会計

令和5年度 県予算総額は、6,326億5,505万円で、前年度と比較して6億4,842万円減少(0.1%減)している。

このうち、教育委員会所管予算額は、897億239万円で、前年度と比較して12億2,795万円減少し(1.4%減)、県の一般会計予算全体に占める割合は、14.2%となっている。

ア 県予算との比較

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和5年度	増減	構成比	対前年度比
県 予 算	633,303,474	632,655,051	△ 648,423	100.0%	99.9%
教育委員会所管予算	90,930,338	89,702,393	△ 1,227,945	14.2%	98.6%

イ 「項」別内訳表

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和5年度	増減	構成比	対前年度比
教 育 総 務 費	3,683,486	3,929,681	246,195	4.4%	106.7%
小 学 校 費	30,175,452	29,294,569	△ 880,883	32.7%	97.1%
中 学 校 費	18,756,371	17,443,613	△ 1,312,758	19.4%	93.0%
高 等 学 校 費	26,500,319	27,036,823	536,504	30.1%	102.0%
特 別 支 援 学 校 費	10,068,320	10,201,171	132,851	11.4%	101.3%
社 会 教 育 費	1,210,925	1,184,220	△ 26,705	1.3%	97.8%
保 健 体 育 費	535,465	612,316	76,851	0.7%	114.4%
合計	90,930,338	89,702,393	△ 1,227,945	100.0%	98.6%

(2) 特別会計

(単位：千円)

会計名	令和4年度	令和5年度	増減	対前年度比
奨学資金特別会計 (教育委員会所管分)	154,131	129,972	△ 24,159	84.3%

第4節 表彰

1 叙勲

(1) 令和4年春の叙勲

〈教育功労〉

瑞宝小綬章 藤縄 太郎
瑞宝双光章 飯村 滋
瑞宝双光章 畠山 敏一
瑞宝双光章 平野 祥子

〈学校保健功労〉

瑞宝双光章 姫野 洋一
瑞宝双光章 伊井 祥

〈スポーツ振興功労〉

旭日双光章 竹中 直志

(2) 令和4年秋の叙勲

〈教育功労〉

瑞宝小綬章 清水 好勝
瑞宝小綬章 石戸 長克
瑞宝双光章 大岩 久七
瑞宝双光章 神通 隆

〈学校保健功労〉

瑞宝双光章 中村 國雄
瑞宝双光章 橋場 研治

〈スポーツ振興功労〉

瑞宝双光章 山田 信明

2 県教育委員会表彰

(1) 文化の日を機会とする表彰（令和4年11月1日富山県民会館8階バンケットホール）

〈学校教育功労者〉

山本 良一
狩谷 進
富樫 良一
富田 利通
西村 和人
秀永 倫明

〈学校保健功労者〉

金子 利朗
立浪 真美
長崎 正男
松井 みづほ
川口 志郎
仲井 雄一
志垣 徳夫

〈優良学校〉

富山市立奥田北小学校
福岡高等学校

〈優良児童生徒〉

北林 愛里咲

〈優良教育団体〉

高岡商業高等学校吹奏楽部
富山商業高等学校
ミツバチプロジェクト

〈優良教職員〉

大島 裕恵
表 美佳子
小宮 舞
大上戸 剛司
手塚 明美
豊田 美和
松本 恵美
新多 裕紀
伊東 智嗣
太田 初美
角丸 映至
高見 麻未
寺島 直美
福田 幸千
上村 武史
喜多 隆雄
澁谷 真弓
鈴木 忠朗
砂子坂 誠
焼田 幸百美
稲垣 慎一
沖田 亜佐美
山田 美智代

〈優良若手教職員〉

多比木 繁
道海 颯太
松崎 陽祐

〈優良教職員組織〉

富山県理科教育振興会

〈社会教育功労者〉

馬場 均
村田 俊彦
山本 柳子

〈優良社会教育団体〉

原型富山歌人会
富山市立西部中学校育成会

〈優良社会教育機関〉

高岡市立福岡公民館

〈芸術文化功労者〉

竹内 尚美
安カ川 恵子

〈優良芸術文化団体〉

金屋町まちづくり協議会

〈優良体育・スポーツ活動推進者〉

坂田 力毅
堀田 みず希
光江 圭司
四十田 知香
上田 滉貴
大上 詩央里
鎌田 望琥人
眞田 明花李
利根川 十仁
小矢部市立石動中学校女子ホッケー部
南砺市立城端中学校水泳部
高岡市立福岡中学校水泳部
富山北部高等学校カヌー一部
魚津高等学校カヌー一部

(2) 富山県健康教育実践優良学校表彰（令和5年1月20日 県庁3階特別室）

ア 総合の部門（一いきいき富山っ子賞）

- (ア) 優良校 富山市立寒江小学校
- (イ) 準優良校 入善町立桃李小学校
- (ウ) 努力校 魚津市立よつば小学校
射水市立塚原小学校

イ 近視予防の部門

- (ア) 優良校 砺波市立鷹栖小学校
- (イ) 準優良校 入善町立黒東小学校

ウ 歯と口の健康の部門

- (ア) 優良校 入善町立ひばり野小学校

(3) 富山県学校給食関係表彰（令和5年1月20日 県庁3階特別室）

ア 学校給食優良学校等 富山市立神保小学校
氷見市立北部中学校

イ 学校給食功労団体 富山市学校給食豆腐納入組合

- ウ 学校給食功労者 大坪 律子（富山市立大広田小学校 学校栄養職員）
中土 智加子（富山市立大庄小学校 調理員）
川崎 和代（南砺市立上平小学校 調理員）

3 県表彰

(1) 県民栄誉賞（令和4年5月16日 ホテルグランテラス富山）

〈北京パラリンピック競技大会〉

川除 大輝（クロスカントリースキー 金メダル）

(2) 特別表彰（令和5年3月13日 知事応接室）

廣瀬 峻

(3) 県功労表彰（令和4年11月1日 富山県民会館8階バンケットホール）

〈学校教育〉

杉浦 敬美 山崎 弘一 佐藤 美和子

〈学校保健〉

鹿熊 武

〈文化〉

野上 克裕 二上射水神社文化財保存会

〈スポーツ〉

竹田 涉瑚 中嶋 碧 中野 登 福田 豊 山下 陽暉
アーティスティック・ムーブメント・イン・トヤマ実行委員会

(4) スポーツ部門功労者表彰 (令和4年11月15日 県庁3階特別室)

〈スポーツ功労者〉

黒井 由紀子 眞田 剛 澤井 武雄

〈優秀スポーツ選手・団体〉

井上 明 倉内 洋輝 中島 遼也 中村 成実
橋口 拓未 藤田 紘基 松下 幸祐

〈優良スポーツ団体〉

小杉サッカークラブ
福光バウファローズ
上市町野球連盟
高岡市サッカー協会
滑川市少年野球連絡協議会

4 中央表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰

(文部科学大臣表彰 令和4年10月27日 文部科学省講堂)

山崎 弘一 (前富山県教育委員会委員)
伊東 眞 (前滑川市教育委員会教育長)
野澤 敏夫 (前小矢部市教育委員会教育長)

(2) 教育者表彰 (文部科学大臣表彰 令和4年9月5日 国立劇場大劇場)

関澤 好 (高岡市立福岡小学校長)
畑井 俊信 (射水市立小杉中学校長)
佐野 友昭 (富山県立富山高等学校長)

(3) 優秀教職員表彰 (文部科学大臣表彰 令和5年1月17日 文部科学省旧庁舎)

谷口 貴子 富山市立新庄北小学校
辻 史子 高岡市立戸出西部小学校

廣川	平	魚津市立西部中学校
尾畑	真紀	富山市立南部中学校
二俣	紀子	高岡市立高岡西部中学校
伊東	和美	射水市立新湊南部中学校
松坂	成規	小矢部市立津沢中学校
西尾	麻衣子	富山県立富山中部高等学校
藤井	和弥	富山県立富山工業高等学校

(4) 産業教育功労者表彰

(産業教育振興中央会表彰 令和4年11月2日 県民会館 304号室)

朝日	重剛	富山県商業教育振興会	前会長
亀永	辰之	富山県総合教育センター	所長
高橋	宏幸	富山県立高岡商業高等学校	校長
湯口	淳	富山県立桜井高等学校	教頭
安田	隆	富山県立富山商業高等学校	教頭
森	義人	富山県立新湊高等学校	教諭
奥田	昌義	富山県立高岡商業高等学校	教諭
河原	秋彦	富山県立富山商業高等学校	教諭
佐伯	高基	富山県立高岡工芸高等学校	教諭
水谷	克也	富山県立砺波工業高等学校	教諭
岩本	博之	富山県立高岡工芸高等学校	教諭
西村	吉彦	富山県立高岡工芸高等学校	教諭
穴田	直樹	富山県立石動高等学校	教諭
石野	雅信	富山県立富山工業高等学校	教諭
青山	誠明	富山県立高岡商業高等学校	教諭
羽根	淳	富山県立富山商業高等学校	教諭
浅井	実	富山県立富山工業高等学校	教諭
林田	篤志	富山県立魚津工業高等学校	教諭
大川	郁代	富山県立富山南高等学校	教諭
江口	奈緒美	富山県立上市高等学校	教諭
佐藤	克己	富山県立高岡工芸高等学校	教諭

- (5) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰
(文部科学大臣表彰 令和4年10月14日 中央合同庁舎第7号館3階講堂)

〈生涯スポーツ功労者〉

荻原 隆夫 (県バスケットボール協会副会長)
広野 幹夫 (県テニス協会グレートテニス連盟理事長)
安田 美和子 (県ビーチボール協会理事長)

〈生涯スポーツ優良団体〉

魚津市ラグビースポーツ少年団 (魚津市)
舟橋村スポーツ少年団舟橋ビクトリーズ (舟橋村)
特定非営利活動法人高岡市水泳協会 (高岡市)
小矢部市水泳協会 (小矢部市)

- (6) スポーツ推進委員功労者表彰
(文部科学大臣表彰 令和4年11月17日 YMITアリーナ(くさつシティアリーナ))
北村 勢津子 (富山市)
石田 智久 (砺波市)

- (7) 学校保健及び学校安全に関する表彰

学校保健 松 智彦〔学校医〕(南砺市)
大野 太郎〔学校医〕(射水市)
大田 博〔学校薬剤師〕(富山市)

学校安全 該当なし

学校安全ボランティア活動奨励賞 保内地区防犯協会
中田地区安全なまちづくり協議会

- (8) 学校給食表彰

文部科学大臣表彰
学校給食優良学校等 該当なし
学校給食関係者 片岡 優佳 (高岡市立下関小学校 栄養教諭)

- (9) 子どもの読書活動に関する表彰

(文部科学大臣表彰 令和4年4月23日 国立オリンピック記念青少年総合センター)
〈子どもの読書活動優秀実践図書館〉
射水市新湊図書館

〈子どもの読書活動優秀実践団体〉

砺波ファーストブックの会

〈子どもの読書活動優秀実践校〉

滑川市立南部小学校

氷見市立湖南小学校

(10) 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣
表彰（文部科学大臣表彰 令和5年2月3日 文部科学省第一講堂）

朝日町学校運営協議会

朝日町地域学校協働本部

(11) 社会教育功労者表彰

（文部科学大臣表彰 令和4年11月2日 文部科学省第1講堂）

高井 清高

(12) 地域文化功労者表彰

（文部科学大臣表彰 令和4年11月15日 京都府民ホールアルティ）

中川 尚孝

(13) 優良PTA

（文部科学大臣表彰 令和4年11月18日 ホテルニューオータニ）

立山町立立山北部小学校育誠会

黒部市立明峰中学校PTA

（文部科学大臣表彰 令和4年8月25日 いしかわ総合スポーツセンター）

富山県立富山南高等学校PTA

(14) 優良公民館表彰

（文部科学大臣表彰 令和5年2月3日 文部科学省第一講堂）

朝日町山崎公民館

南砺市南山見交流センター

(15) キャリア教育優良学校及びPTA団体

氷見市立湖南小学校

富山市立和合中学校

富山県立富山北部高等学校

第5節 広報広聴活動

1 広報資料

令和4年度は、「教委だより」等による独自活動のほか、広報課との協力による広報活動、記者クラブを通じての情報提供等を行った。

県教育委員会の主な広報資料は下記のとおり。

- (1) 教委だより 県教育の現況、関係事業の案内及び報告等。年3回発行。
小・中・高・特別支援学校の教職員及び教育関係機関に配布。
A4判、8p2回、12p1回、1回10,500部
- (2) 教育要覧 県教育の事業実績、参考資料等。年1回発行。A4判、251p
※18年度から県ホームページで掲載（情報公開窓口、県立図書館は製本版を配置）
- (3) 富山県の教育 県教育の現況を、図表・グラフ等により紹介。11月発行。
市町村教委、県立学校、教育関係機関等に配布。
A4判、8p、中とじ、800部。
- (4) 福利とやま 福祉事業の紹介、結果報告等。年4回発行。
小・中・高・特別支援学校の教職員及び県教委事務局職員に配布。
A4判、平均12p、4・7月号10,000部、10・1月号10,500部

2 県の広報媒体の利用

一般県民に対する広報活動は、県の広報媒体を利用して行っている。

- ・新聞広報「県からのお知らせ」（毎月2～3回土曜日朝刊）
- ・広報紙「県広報とやま」（各世帯配布。4、6、8、10、1月の年5回）
- ・フリーペーパー、月刊誌「O2」、「minto」、「Takt」（5、7、9、11、3月の年5回）
- ・テレビ放送「こんにちは富山県です」（北日本放送 土曜（月3回程度）15分 ㊟金曜）
「幸せのカタチ～とやまで自分らしく～」（富山テレビ 月曜（月3回程度）3分 ㊟土曜）
「とやまメモらナイト」（チューリップテレビ 日曜（月2回程度）3分 ㊟月曜）
「令和新時代『県政クローズアップ』」（ケーブルテレビ各局 年5本 60分 各局4回以上）
15秒CM（民放3局 年12本 毎月10回/局程度）
- ・ラジオ放送「でるラジ」内（KNB 毎週火・木曜 1分）
「とやま情報スクエア」（FMとやま 毎週月～金曜 5分 ㊟夕方）
「コミネット富山」（コミュニティFM 毎週月・金曜 2分半）
- ・SNS ツイッター、インスタグラム、LINE
- ・HP「トヤマ・ジャスト・ナウ」（毎週水曜）

第6節 奨学事業

1 県の奨学事業

(1) 富山県奨学資金

貸与条例に基づき、有為な人材の育成を図るため、経済的理由のために修学困難で、かつ優れた者に無利子で奨学資金を貸与している。

貸与金の返還方法は、卒業後6か月の措置期間を含めて10年6か月の期間内に年賦又は半年賦で返還する。

ア 貸与月額

(令和4年度)

学校種別	国公立区分	通学区分	1年 (R4入学)	2年 (R3入学)	3年 (R2入学)	4年 (H31入学)	5年 (H30入学)	6年 (H29入学)
高等学校	国立	自宅	18,000円					
	公立	自宅外	23,000円					
特別支援学校高等部 中等教育学校後期課程 専修学校高等課程	私立	自宅	30,000円					
		自宅外	35,000円					
高等専門学校 (4年次より貸与月額増)	なし	なし	18,000円			44,000円		
大 学 (短期大学を含む)	なし	自宅	45,000円					
		自宅外	51,000円					
専修学校専門課程	なし	なし	44,000円					

イ 奨学生採用状況

(令和5年3月31日現在)

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
大 学	志願者数	40	21	23	22	18	9	15	11
	採用者数	27	12	18	18	16	8	13	11
高 校 (高専を含む)	志願者数	81	83	61	31	29	32	21	21
	採用者数	80	77	57	29	26	29	20	21
専修学校	志願者数	23	12	10	5	4	2	2	1
	採用者数	16	9	7	2	3	1	2	0

ウ 学年別貸与人員

(令和5年3月31日現在)

学年 \ 区分	1	2	3	4	5	6 (専攻科含)	計
高等学校	16人	20人	25人	0人	0人	0人	61人
専修学校(高等課程)	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	2	0	2
大学	7	8	9	17	0	1	42
専修学校(専門課程)	0	2	1	2	0	0	5

(2) 定時制通信制修学奨励金貸与事業

修学奨励金貸与条例に基づき、働きながら高校の定時制及び通信制に在学する者に対し、修学奨励金を貸与することによりその修学を促進し、もって教育の機会均等に資する。

なお、定時制又は通信制高校を卒業した場合は、返還債務は免除される。

ア 貸与月額

(令和5年3月31日現在)

区分	貸与月額
定時制課程	1・2・3・4年(次)生 公立 14,000円
通信制課程	1・2・3・4年次生 公立 14,000円

イ 貸与状況

(令和5年3月31日現在)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
申請者数	4人	3人	6人	2人	5人	5人	2人
採用者数	3人	3人	6人	2人	5人	5人	2人

ウ 学年別貸与人員

(令和5年3月31日現在)

区分 \ 学年	1年(次)	2(次)	3(次)	4(次)
定時制課程	0人	0人	2人	0人
通信制課程	0人	0人	0人	0人

(3) その他(災害被災者への措置)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災幼児児童生徒に対して、就学支援措置を講じた。

・就学支援事業

幼稚園保育料等の軽減、小・中学校における就学費用の援助、県立高校入学料及び入学考査手数料の免除(令和5年度入学者選抜0人)